この電子化された添付文書をよく読んでから使用してください。

体外診断用医薬品

*2026 年 5 月改訂　（第 2 版）

製造販売届出番号　14A2X00015000033

2024 年 5 月作成　（第 1 版）

銅キット

クイックオート　ネオ　Ｃｕ

【全般的な注意】

1. 本品は、体外診断用医薬品でありそれ以外の目的に使用しないでください。
2. 診断は他の関連する検査結果や臨床症状等に基づいて総合的に判断してください。
3. 電子化された添付文書以外の使用方法については保証を致しません。
4. 使用する機器の電子化された添付文書及び取扱説明書をよく読んでから使用してください。

【形状・構造等（キットの構成）】

Ｒ－Ⅰ　緩衝液

Ｒ－Ⅱ　呈色液

4-（3,5-ジブロモ-2-ピリジルアゾ）-N-エチル-N-（3-スルホプロピル）アニリンナトリウム
[略名：3,5-DiBr-PAESA]

*【使用目的】

血清又は血漿中の Cu の測定

*【測定原理】

本品は直接法（3,5-DiBr-PAESA）[1]に基づいて開発された血清又は血漿中の銅（Cu）を測定する試薬です。
血中銅の 90%以上はセルロプラスミン結合銅で、残りはアルブミンやアミノ酸に緩く結合しています。[2]
これらの銅を酸性下で遊離させ、還元剤（アスコルビン酸）で Cu^{+}に還元します。この Cu^{+}は 4-（3,5-ジブロモ-2-ピリジルアゾ）-N-エチル-N-（3-スルホプロピル）アニリンナトリウム（3,5-DiBr-PAESA）とキレート化合物を作り発色します。
この色素を比色して検体中の銅値を求めます。

【操作上の注意】

測定試料の性質、採取法

*1. 検体は血清、血漿いずれでも使用できます。
2. 外部からの銅の汚染には十分注意してください。
3. 採取後の検体は速やかに測定してください。検体を保存する場合は、冷蔵（2～10℃）で 4 週間、凍結保存（-10℃以下）で 6 ヶ月間使用できます。[3]

妨害物質・妨害薬剤[注ⅰ)]

1. ヘモグロビン 500 mg/dL まで測定値に影響ありません。
2. ビリルビン 20 mg/dL まで測定値にほとんど影響ありません。
3. アスコルビン酸 20 mg/dL まで測定値に影響ありません。
*4. 抗凝固剤の EDTA は負誤差を与えますので使用できません。

【用法・用量（操作方法）】

試薬の調製方法

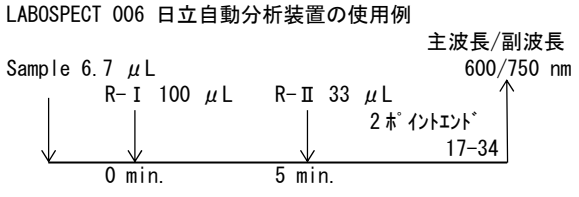
R-Ⅰ・・・・緩衝液をそのまま使用します。
R-Ⅱ・・・・呈色液をそのまま使用します。

必要な器具・器材・試料等

検量用試料の詳細については弊社担当者にお問い合わせください。

測定（操作）法

LABOSPECT 006 日立自動分析装置の使用例



（注）自動分析装置の設定条件等詳細については、弊社担当者にお問い合わせください。

【測定結果の判定法】

1. 参考基準範囲：71～132 μg/dL[4)]
2. 判定上の注意
   1) 測定範囲を超える検体は、精製水又は生理食塩液で希釈した後測定してください。
   2) 参考基準範囲は、臨床判断値と異なりますのでご留意ください。

【臨床的意義】

銅は生体内に広く分布する必須微量金属の一つで、主として金属酵素の重要な構成成分として種々の反応における触媒作用を有し、鉄剤不応性貧血、好中球減少、骨病変の診断に利用され、また、ウィルソン病では著明な低値を示します。[2) 4) 5)]

【性能】

性能

1. 感度・正確性・同時再現性
   (1) 感度試験
      1) 精製水を試料として操作した場合の吸光度は 0.2 以下です。
      2) 既知濃度の標準液又は標準血清を試料として操作した場合、200 μg/dL に対する吸光度は、0.09～0.18 の範囲です。
   (2) 正確性試験
      既知濃度の管理用血清を測定するとき、既知濃度の±20%以内です。
   (3) 同時再現性試験
      同一検体を 5 回同時に測定するとき、吸光度の C.V.値は 7%以下です。
2. 測定範囲[注ⅱ)]
   2～1000 μg/dL

相関性試験成績[注ⅲ)]

1. 血清検体
   x：既存製品
   y：本品
   n=66
   y=1.06x+0
   r=0.98
*2. 血漿検体
   x：血清
   y：血漿
   n=100
   y=0.99x-1
   r=1.00

較正用基準物質

銅標準液（JCSS,CERI）

注ⅰ，ⅱ，ⅲ）特定の機種による試験結果のため、機種によっては同様の結果を得られない場合があります。詳細は、弊社担当者にお問い合わせください。

【使用上又は取扱い上の注意】

取扱い上（危険防止）の注意

1. 検体は HIV、HBV、HCV 等の感染の恐れがあるものとして取り扱ってください。検査にあたっては感染の危険を避けるため使い捨て手袋を着用し、また口によるピペッティングを行わないでください。
2. 緩衝液は酸性です。使用に際しては、試薬が直接皮膚に付着したり、目に入らないよう注意してください。
3. 試薬が誤って目や口に入った場合には、水で十分に洗い流す等の応急処置を行い、必要があれば医師の手当等を受けてください。

使用上の注意

1. 外部からの銅の汚染には十分注意してください。
2. 本品は凍結を避け、貯蔵方法に従い保存してください。誤って凍結させた試薬は、品質が変化して正しい結果が得られない場合がありますので使用しないでください。
3. 使用期限を過ぎた試薬は使用しないでください。
4. 開封後、4 週間以内に使用してください。保存環境により変動することがありますのでご注意ください。
5. 試薬の注ぎ足しは行わないでください。
6. 容器を再利用したり他の目的に転用しないでください。

廃棄上の注意

1. 検体中には HIV、HBV、HCV 等の感染性のものが存在する場合がありますので、廃液、使用済み器具などは次亜塩素酸ナトリウム（有効塩素濃度 1000 ppm、1 時間以上浸漬）又はグルタールアルデヒド（2%、1 時間以上浸漬）による消毒処理あるいはオートクレーブ(121℃､20分以上)による滅菌処理を行ってください。
2. 検体又は検体を含む溶液が飛散した場合､80%のアルコールスプレー等で拭き取ってください。
3. 緩衝液の pH は排水基準の 5.8 未満です。廃棄にあたっては水質汚濁防止法等の規制に注意して処理してください。
4. 試薬及び器具類を廃棄する場合には、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に従って処理してください。

【貯蔵方法・有効期間】

貯蔵方法

2～8℃保存

有効期間

1 年間

【包装単位】

品名	識別記号	
統一商品コード		規格
クイックオート　ネオ　Ｃｕ	HLS	
326094226　Ｒ－Ⅰ　緩衝液		28.6 mL×2
Ｒ－Ⅱ　呈色液		12.2 mL×2

他に包装がありますので、お問い合わせください。
・別売：「Ｃｕ標準液（200 μg/dL)」
（10 mL×1、統一商品コード 326041039）

【主要文献】

1. Abe,S.Yamashita,A.Noma,Sensitive,directcolorimetric assay for copper in serum,Clin.Chem.,35,p.552-554 (1989)
＊2. 西　美和：日本臨牀、68（増刊号 1）、p.305-308（2010）
3. 山崎浩和、他：検査と技術、40（8）、p.755-759（2012）
4. 金井正光、他：臨床検査法提要、改訂第 35 版、金原出版、東京、p.593-594（2020）
5. 西　美和:日本臨牀､53(1995年増刊号)､p.815-818(1995)

【問い合わせ先】

株式会社シノテスト　カスタマーサポート
TEL　0120-66-1141
FAX　042-753-1892
（品質に関するお問い合わせの際は、製造番号を確認の上ご連絡ください。）

【製造販売業者の氏名又は名称及び住所】

株式会社シノテスト
神奈川県相模原市南区大野台4-1-93
TEL：0120-66-1141

(260312)